

N8191-16 サーバスイッチユニット(8Server)
N8191-17 サーバスイッチユニット(4Server)

スタートアップガイド

(第1版)

本書は必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。

本書は製品を安全にお使いいただくための手引きです。ご使用になる前に本書をよくお読みになり、本製品の取り扱いを十分にご理解ください。また、サーバ本体装置への製品の取り付け/取り外しの方法や、製品仕様につきましては、NEC のサポートサイトからダウンロードしてください。

NEC サポートサイト URL

<http://support.express.nec.co.jp/pcserver/>
→「検索」の「型番・モデル名から探す」を選択
→モデル名を記入し「型番で検索」を選択
→型番を選択
→「製品マニュアル（ユーザーズガイド）」を選択
→該当型番のユーザーズガイドを選択

構成品一覧

品名	数量	備考
サーバスイッチユニット	1	本製品
スタートアップガイド	1	本書
保証書	1	
接続先表示ラベルシート	1	36 枚/1 シート
AC アダプタ	1	
SSU コンソールケーブル	1	
ファームウェアアップグレードケーブル(SSU 用)	1	
ケーブル結束バンド (面ファスナー)	10	予備含む
ケーブルタイ(DC プラグ固定用)	3	予備 2
アース線	1	
ゴム足	4	
ラックマウントブラケット	2	L/R 共通
ネジ (M3×6mm)	6	
ネジ (M5×10mm)	5	予備 1

ご注意

- 本書の内容の一部または全部について、許可なく複製・転載・翻訳・他形式・メディアへの変換等を行うことは、禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一お気付きの点や、ご不明の点がありましたら、販売店または弊社までご連絡ください。
- 本製品を運用した結果の影響については、上記 3 項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。
- 本書は、本体装置の操作に熟知した管理者、または保守員向けに記載されておりま。本体装置の取り扱いや、各種 OS の操作、その他一般的かつ、基本的な事柄につきましては記載を省いておりますのであらかじめご了承ください。



© NEC Corporation 2022
NEC の許可なく複製・改変などを行うことはできません

使用上のご注意 -必ずお読みください-

本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。







安全にかかわる表示について






本製品を安全にお使い頂くために、本書の指示に従って操作してください。本書には装置のどこが危険でどのような危険に遭うおそれがあるか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。本書では危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次の意味を持つものとして定義しています。

- **警告** “取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されること”を示します。
- **注意** “取扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが予想されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されること”を示します。

- *1: 重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
- *2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
- *3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。














危険に対する注意・表示は次の 3 種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義しています。

本書で使用する記号とその内容		
	この記号は、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	
	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近く絵表示は、してはならない内容を図案化したものです。	
	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためには、この行為が必要です。	










	感電のおそれのあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。
	爆発または破裂のおそれがあることを示します。
	指がはさまれてけがをするおそれがあることを示します。
	けがをするおそれがあることを示します。
	特定しない一般的な注意。警告を示します。
	本製品を分解。修理。改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。
	水や液体がかかる場所で使用しないでください。水に濡らすと感電や発火のおそれがあります。
	特定しない一般的な禁止を示します。
	濡れた手で触らないでください。感電するおそれがあります。
	指定された場所以外には触らないでください。感電や火傷などの傷害のおそれがあります。
	本体装置の電源プラグを AC コンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。
	特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
	必ず接地してください。感電や火災のおそれがあります。













安全上のご注意

全般的な注意事項

 警告	
	人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない 本製品は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じてても弊社はいかなる責任も負いかねます。
 	煙や異臭、異音が生じたまま使用しない 万一、煙、異臭、異音が生じた場合は、ただちに接続されている全てのサーバの電源を OFF にして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。
 	針金や金属片を差し込まない 本製品のすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。
 注意	
  	日本国外で使用しない 本製品は、日本国内用として製造・販売しています。日本国外では使用できません。本製品を日本国外で使用すると火災や感電の原因となります。
  	本製品内に水や異物を入れない 本製品内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

ラックの設置・取り扱いに関する注意事項

 警告	
 	規格以外のラックで使用しない 本製品は米国電子工業会(EIA)規格に適合した 19 型（インチ）ラックにも取り付け使用できます。EIA 規格に適合していないラックに取り付けて使用しないでください。本製品が正常に動作しなくなるばかりか、けがや周囲の破損の原因となることがあります。本製品が使用できるラックについては保守サービス会社にお問い合わせください。
 	指定以外の場所で使用しない 本製品を取り付けるラックを設置環境に適していない場所には設置しないでください。 本製品やラックに取り付けているその他のシステムに悪影響をおよぼすばかりでなく、ラックの転倒によるけがなどをするおそれがあります。設置場所に関する詳細な説明や耐震工事についてはラックに添付の説明書を読むか保守サービス会社にお問い合わせください。
 注意	
	環境温度 運用時、ラック周囲の温度は、周りの温度より高くなります。そのため、各機器の設置は、メーカーの動作保証温度をその環境に合わせて考慮してください。
	エアフロー 本製品が十分冷却できるよう、ラックのエアフローを確保してください。
	マウントされた機器の接地 ラックにマウントされた機器は確実に接地してください。

 	1人で搬送・設置をしない ラックの搬送・設置は2人以上で行ってください。ラックが倒れてけがや周囲の破損の原因となります。特に高さのあるラック（44Uラックなど）はスタビライザなどによって固定されていないときは不安定な状態にあります。かならず2人以上でラックを支えながら搬送・設置をしてください。
 	荷重が集中してしまうような設置はしない ラック、および取り付けた装置の重量が一点に集中しないようスタビライザを取り付けるか、複数台のラックを連結して荷重を分散してください。ラックが倒れてけがをするおそれがあります。
 	1人で部品の取り付けをしない・ラック用ドアのヒンジのピンを確認する ラック用のドアやレールなどの部品は2人以上で取り付けてください。また、ドアの取り付け時には上下のヒンジのピンが確実に差し込まれていることを確認してください。部品を落として破損させるばかりではなく、けがをするおそれがあります。
 	ラックが不安定な状態で装置をラックから引き出さない ラックから装置を引き出す際は、必ずラックを安定させた状態（スタビライザの設置や耐震工事など）で引き出してください。ラックが倒れてけがをするおそれがあります。
 	複数台の装置をラックから引き出した状態にしない 複数台の装置をラックから引き出すとラックが倒れてけがをするおそれがあります。装置は一度に1台ずつ引き出してください。
 	定格電源を超える配線をしない やけどや火災、装置の損傷を防止するためにラックに電源を供給する電源分岐回路の定格負荷を超えないようにしてください。なお、電源設備の設置や配線に関しては、電源工事を行った業者や管轄の電力会社にお問い合わせください。

電源・電源コードに関する注意事項

⚠️ 警告	
⚡ 🚫	ぬれた手で電源プラグを持たない ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。 感電するおそれがあります。
⚡ ⚡ 🚫	アース線をガス管につながらない アース線は絶対にガス管につながらないでください。 ガス爆発の原因になります。
⚠️ 注意	
⚡ ⚡ 🚫 🔌	指定以外のコンセントに差し込まない 指定された電圧でアース付のコンセントをお使いください。 指定以外のコンセントを使うと火災や漏電の原因となります。 また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。 本製品の電源仕様に合っていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。 付属のアース線による接地接続は必ず、AC アダプタの電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。 接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
⚡ 🚫	たこ足配線にしない コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。
⚡ ⚡ 🚫	中途半端に差し込まない 電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。 中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。 また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。
⚡ ⚡ 🚫	指定以外の電源コードを使わない 本製品に添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。 電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。 また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次の注意をお守りください ● コード部分を引っ張らない。 ● 電源コードを折り曲げない。 ● 電源コードをねじらない。 ● 電源コードを踏まない。 ● 電源コードを束ねたまま使わない。 ● 電源コードをステーブラなどで固定しない ● 電源コードをはさまない。 ● 電源コードに薬品類をかけない。 ● 電源コードの上にものを載せない。 ● 電源コードを改造・加工・修復しない。 ● 損傷した電源コードを使わない。（損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。）
⚡ ⚡ 🚫	添付の電源コードを他の装置や用途に使用しない 添付の電源コードは本製品に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されている物です。 決して他の装置や用途に使用しないでください。 火災や感電の原因となるおそれがあります。
⚡ ⚡ 🚫	電源ケーブルを持って引き抜かない 電源ケーブルを抜くときはコネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。 ケーブル部分を持って引っ張ったりコネクタ部分に無理な力を加えたりするとケーブル部分が破損し、火災や感電の原因となります。

設置・装置の移動・保管・接続に関する注意事項

⚠️ 注意	
⚡ 🚫	指定以外の場所に設置・保管しない 本製品を次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないでください。 火災の原因となるおそれがあります。 ● ほこりの多い場所。 ● 給湯器のそばなど湿気の多い場所。 ● 直射日光が当たる場所。 ● 不安定な場所。
⚡ 🚫	腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない 腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する場所に設置し、使用しないでください。 また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。 本製品内部のプリント板が腐食・ショートし、火災の原因となるおそれがあります。 ご不明の点は販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。
⚡ 🚫	指を挟まない ラックへの取り付け・取り外しの際にレールなどで指を挟んだり、切ったりしないよう十分注意してください。
⚡ ⚡ 🚫	本製品に接続されている製品の電源がONのままや、電源コードを差し込んだままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない インタフェースケーブルの取り付け/取り外しは、接続されている全ての製品の電源をOFFし、本製品および接続されている全ての製品のACアダプタをコンセントから抜いて行ってください。 たとえ電源をOFFにしても電源コードを接続したままケーブルやコネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。
⚡ 🚫	指定以外のインタフェースケーブルを使用しない インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する製品やコネクタを確認した上で接続してください。 指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。 また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。 ● 破損したケーブルやコネクタを使用しない。 ● ケーブルを踏まない。 ● ケーブルの上にものを載せない。 ● ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。 ● ネジ止めなどのロックを外したまま使用しない。

お手入れ・取り扱いに関する注意事項

⚠️ 警告	
⚡ ⚡ 🚫	自分で分解・修理・改造はしない 本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。 本製品が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。
⚡ ⚡ 🔌	電源プラグを差し込んだまま取り扱わない お手入れの際は、接続されている全ての製品の電源をOFFし、本製品および接続されている全ての製品のACアダプタをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても電源コードを接続したままケーブルやコネクタに触ると感電するおそれがあります。 また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。 ほこりがたまったまま、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。
⚡ 🚫	装置前面や内部にほこりが積もった状態で運用しない 定期的に清掃してください。装置前面や内部にほこりが積もった状態で運用を続けると、火災の原因となる恐れがあります。装置内部の清掃が必要な場合は、お買い求めの販売店、または保守サービス会社にご相談ください。
⚠️ 注意	
⚡ 🚫	中途半端に取り付けない 電源コードやインタフェースケーブルは確実に取り付けてください。 中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。

運用中の注意事項

⚠️ 注意	
⚡ 🚫	雷がなったら触らない 雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて製品には触れないでください。 また、機器の接続や取り外しも行わないでください。 落雷による感電のおそれがあります。
⚡ ⚡ 🚫	ペットを近づけない 本製品にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が本製品の内部に入って火災や感電の原因となります。
⚡ 🚫	動作中に装置をラックから取り外さない 本製品が動作しているときにラックから取り外したりしないでください。 本製品が正しく動作しなくなるばかりでなく、ラックから外れてけがをするおそれがあります。
⚡ 🚫	本製品の上にものを載せない 本製品がラックから外れてけがや周辺の家財に損害を与えるおそれがあります。

本製品の譲渡と廃棄について

第三者への譲渡について

本製品、または本製品に添付されているものを第三者に譲渡（または売却）するときは、本書ならびに添付品一式（電子マニュアル等を含む）と一緒にお渡しください。

本製品の廃棄について

本製品の廃棄については、各自自治体の廃棄ルールに従ってください。 詳しくは、各自自治体へお問い合わせください。 なお添付の電源コードにつきましても、他の製品への誤用を防ぐため、本製品と一緒に廃棄してください。

🏠 健康を損なわないためのアドバイス

コンピュータ機器を長時間使用する上で健康を損なわないため注意していただきたいことがらを記載します。 身体に負担がかからないよう心掛けましょう。

よい姿勢で作業を しましょう。	ときどき軽い体操をするなど、気分転換を はかりましょう。
ディスプレイの向きや明るさ（ブライトネス）、コントラストを 見やすく調節しましょう。	
その他 本製品を安全に正しく取り扱うための説明や注意事項は、「ユーザーズガイド」で詳しく記載されています。	

技術的な法規制

電波障害自主規制について

この装置は、クラスA 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

高調波適合品

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

電源の瞬時電圧低下対策について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。 電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置（UPS）等を使用されることをお勧めします。

日本国外での使用について

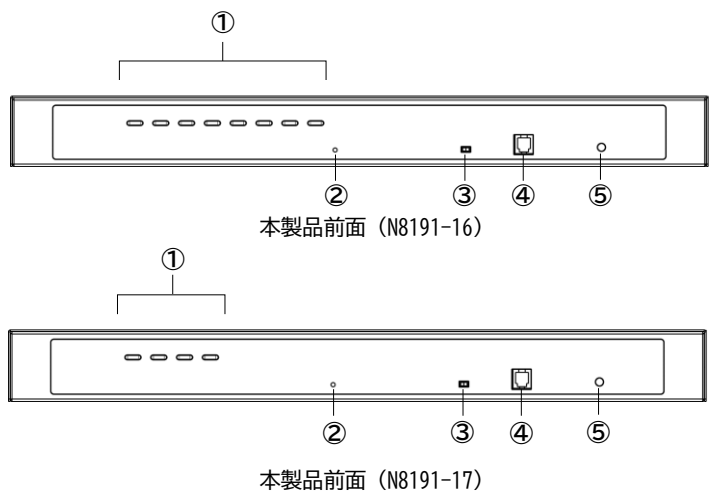
この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格等の適用を受けておりません。したがって、この装置を輸出した場合に当該国での輸入通関および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

本製品に関する詳しい説明が記載されている「ユーザーズガイド」は NEC Web サイトにて公開しています。



各部の名称

前面



- ①

ポート選択ボタン
- ②

リセットボタン
- ③

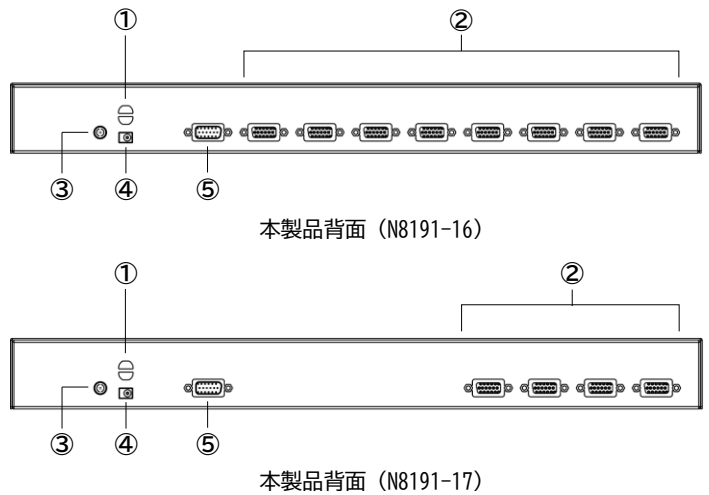
ファームウェアアップグレード
リカバリースイッチ
- ④

ファームウェアアップグレードコネクタ
- ⑤

電源ランプ
- チェック

②はピンホール型ボタンになっているので、ペン等の細いもので押してください。

背面



- ①

ケーブルタイ取り付け穴
- ②

サーバポート
- ③

接地ターミナル
- ④

DC インレット
- ⑤

コンソールポート
- チェック

本製品は専用 KVM コネクタを採用しています。
専用 KVM コネクタはそれ以外のコネクタ
(ミニ D-Sub15 ピンコネクタ等)との互換
性はないため注意してください。
-

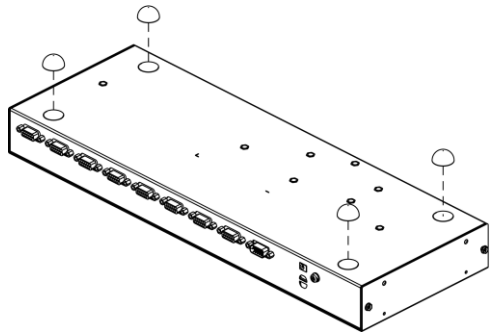
設置

卓上に設置する場合

本製品を卓上に設置する場合は、本製品裏面の 4 箇所に添付のゴム足を貼り付けてください。

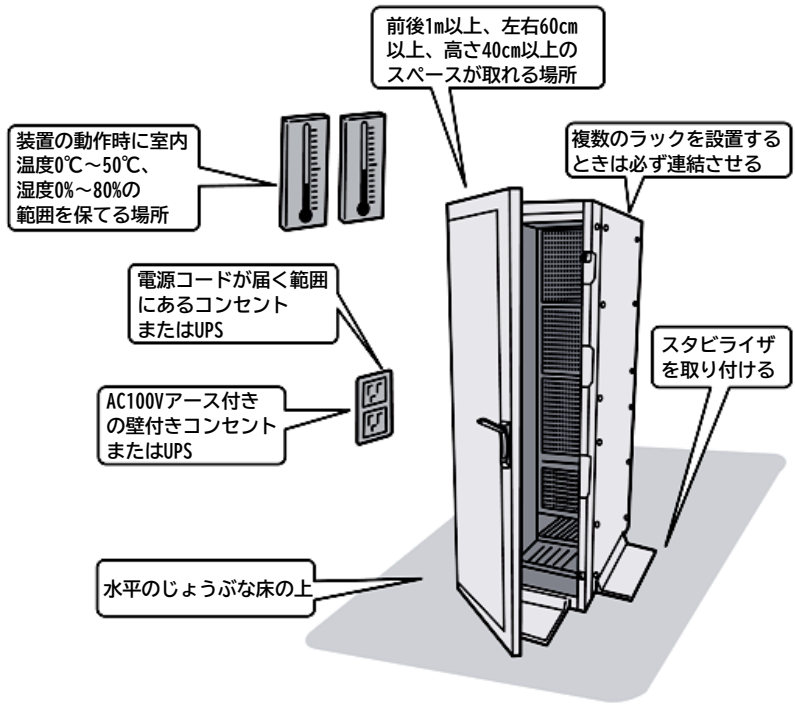
チェック

本製品を設置後、本製品が安定していることを確認してください。



ラックに設置する場合

本製品は、EIA 規格に適合した 19 型(インチ)ラックに取り付けて使用します。
次の条件を守ってラックを設置した後、本製品を取り付けます。

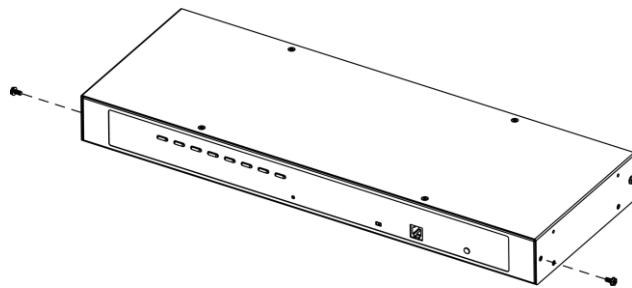


(ラックの前側へ設置する場合(順方向))

1.

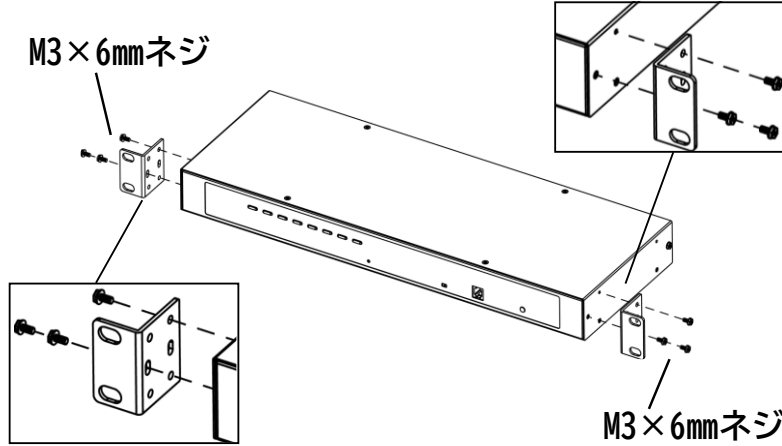
前面の左右のネジ(片側 1 個で計 2 個)を取り外します。
- チェック

取り外したネジは大切に保管してください。



2.

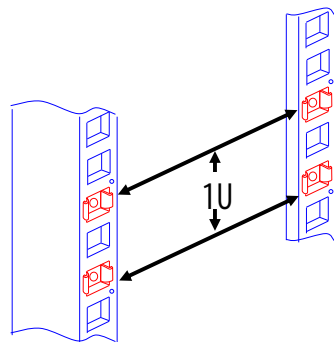
ラックマウントブラケットをブラケット取付用 M3×6mm ネジ(片側 3 個づつ)で左右それぞれの側面に取り付けます。



3.

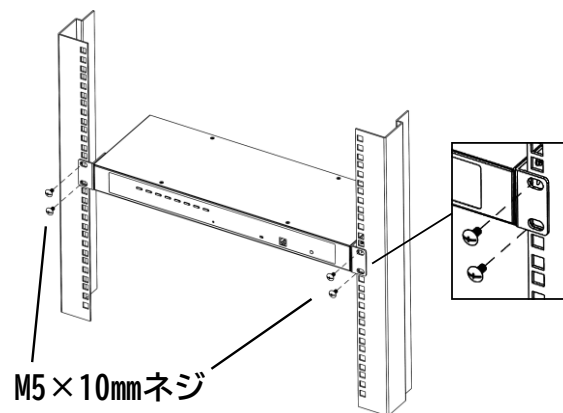
SSU を取りつける 1U のスペースを確認し、ラックに添付されているコアナットをラック前側の設置部分に 4 個取り付けます。
- 重要

コアナットを取り付ける位置は、設置部分の高さをそろえて取り付けてください。この時、ラックの設置部分に刻印されている数字を目安にすると高さをそろえ易くなります。



4.

SSU をラックの前側から添付のラック取付用 M5×10mm ネジ(4 個)にて固定します。

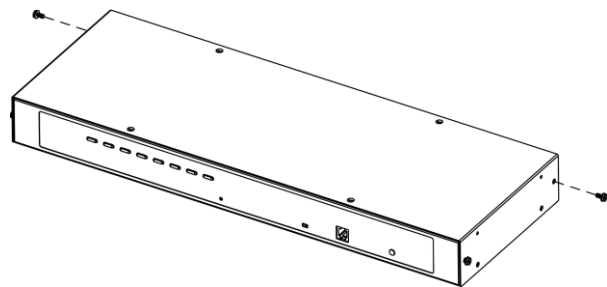


(ラックの後側へ設置する場合(順方向))

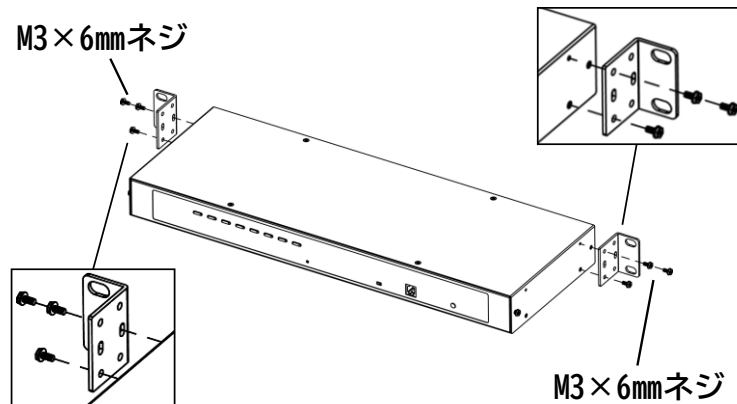
1.

背面の左右のネジ(片側 1 個で計 2 個)を取り外します。
- チェック

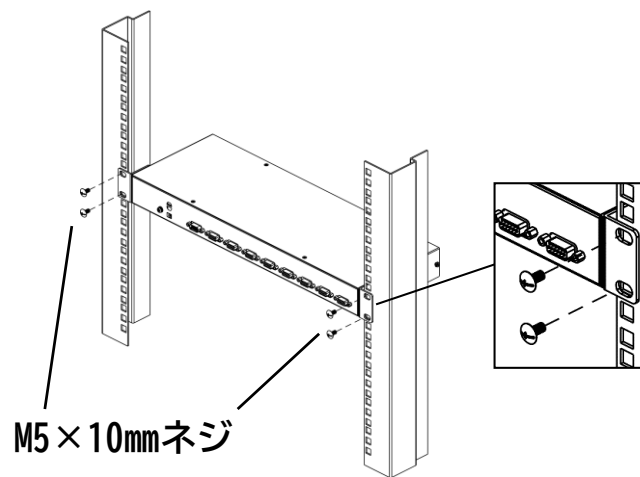
取り外したネジは大切に保管してください。



- ラックマウントブラケットをブラケット取付用 M3×6mm ネジ（片側 3 個づつ）で左右それぞれの側面に取り付けます。

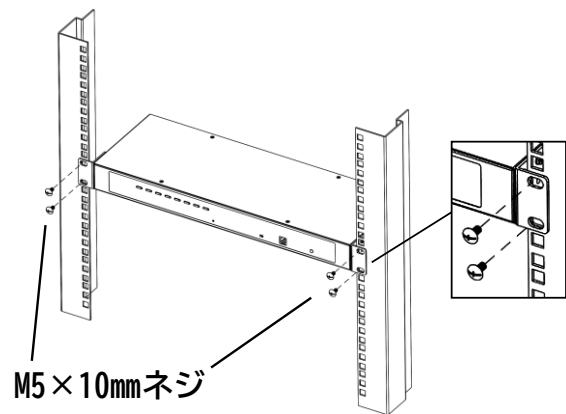


- 「ラックの前側へ設置する場合(順方向)」の手順 3 を参照してラック後側にコアナットを取り付けます。
- SSU をラックの後側から添付のラック取付用 M5×10mm ネジ（4 個）にて固定します。



（ラックの後側へ設置する場合（逆方向））

- 「ラックの前側へ設置する場合」の手順 1～3 を参照して SSU にラックマウントブラケットを、ラック後側にコアナットを取り付けます。
- SSU をラックの後側から添付のラック取付用 M5×10mm ネジ（4 個）にて固定します。

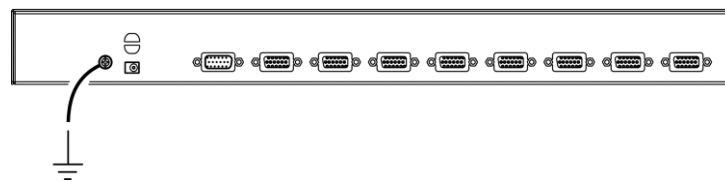


（N8143-142 付属ラックレールの後側に設置する場合）

本製品は N8143-142 付属のラックレールの後側に設置することができます。詳細は N8143-142 ユーザーズガイドを参照してください。

（接地）

お使いの機器への損傷を防ぐためには、使用するすべてのデバイスを適切に接地する必要があります。接地線の一端を接地ターミナルに、もう一端を適切な接地端子にそれぞれ接続して製品本体を接地してください。



ケーブルの接続

本製品とサーバは別売のスイッチユニット接続 USB ケーブルセット(以降 KVM ケーブルと表記)で接続されます。

KVM ケーブルは、本製品同士をカスケード接続する際にも使用します。カスケード接続では、最大 64 台のサーバを接続できます(N8191-16 を 9 台カスケード接続した場合)。

またカスケード接続では、N8191-16 と N8191-17 の混在も可能です。

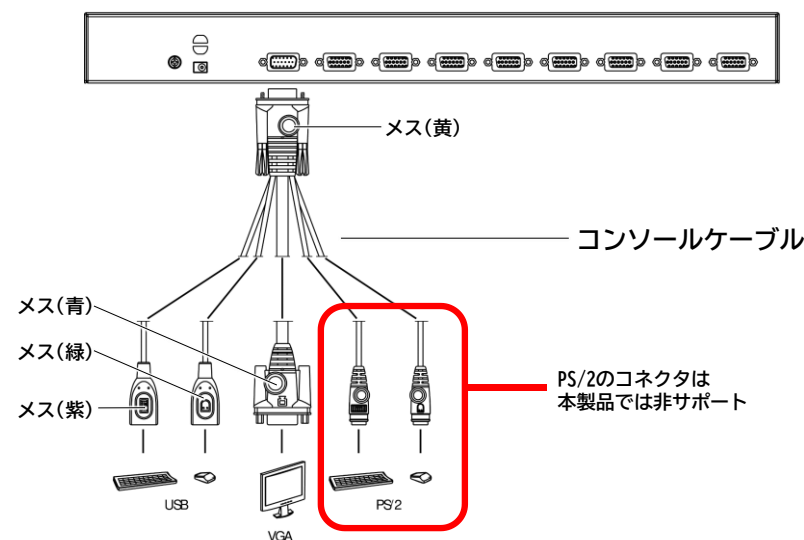
本製品とディスプレイ、キーボード、マウスは、本製品添付の SSU コンソールケーブルを介して接続します。



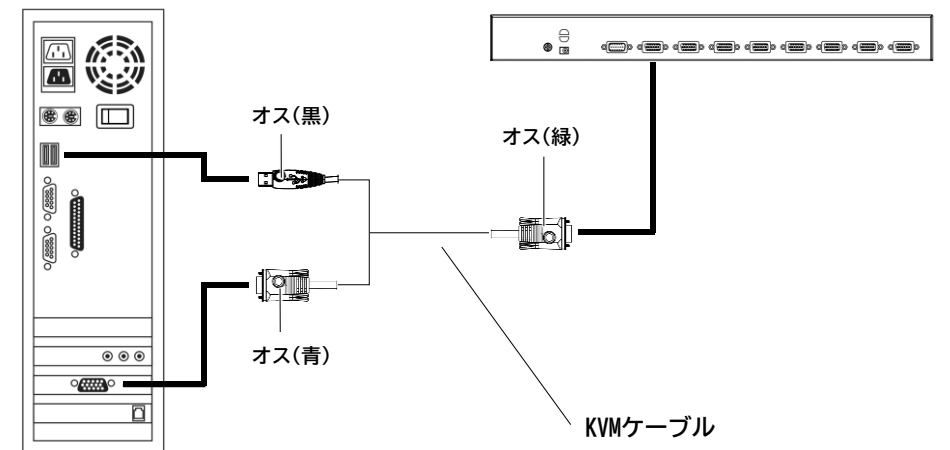
- 電源コードやインターフェースケーブルはケーブルタイ、ケーブル結束バンドで固定してください。
- ケーブルがラックのドアや側面のガイドレールなどに当たらないようフォーミングしてください。
- 電源コードは本製品の DC インレット部分で少したるませる程度にフォーミングしてください。サーバを引き出したときに電源コードが抜けるのを防ぐためです。
- 電源コードのプラグ部分が圧迫されないようにしてください。
- カスケード接続に使用するケーブルは K410-494 のみです。他のケーブルは使用できません。
- 本製品やサーバおよび周辺装置の電源を OFF にしてからケーブル接続をしてください。ON のまま接続すると誤動作や故障の原因となります。
- KVM ケーブルおよび SSU コンソールケーブルのコネクタを接続する際には、コネクタの固定ネジを締めて、確実に本製品および SSU、サーバに接続してください。確実に接続していない場合には画像が乱れたり、映らなくなったりするおそれがあります。
- 接続の前に接続する全ての機器が正しく接地されていることを必ず確認してください。
- ケーブルを固定する際は、ケーブルがたるんで垂れ下がらないように、かつコネクタにテンションがかからないようにしてください。



添付の接続先表示ラベルに接続先を記入してケーブルに貼り付けておくことをお勧めします。お手入れや、移動の際に作業しやすくなります。

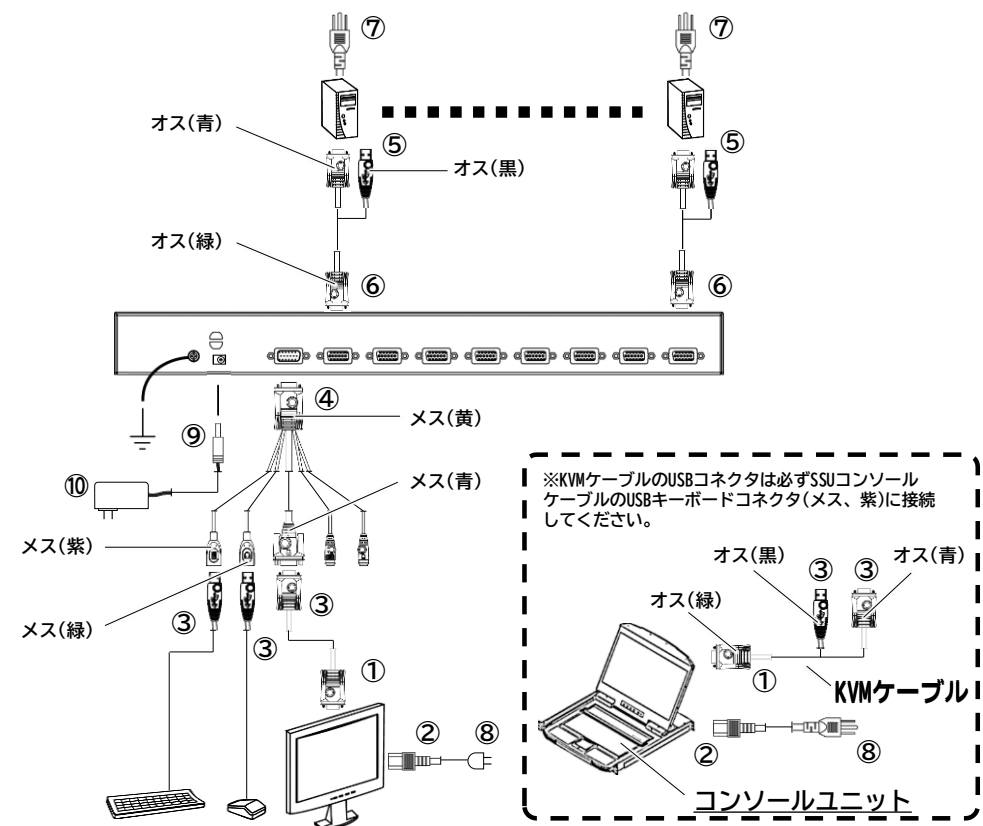


SSU とディスプレイ、キーボード、マウスの接続図



サーバと SSU の接続図

単体接続



- ディスプレイケーブルをディスプレイに接続します。コンソールユニットをお使いの場合は KVM ケーブルをコンソールユニットに接続します。（接続図①参照）



- 専用 KVM コネクタはそれ以外のコネクタ(ミニ D-Sub15 ピンコネクタ等)との互換性はないため注意してください。強制的に接続しようとすると機器の故障や破損の原因となります。
- コンソールユニットをお使いの際はコンソールユニットのユーザーズガイドを参照してください。

- ディスプレイ、もしくはコンソールユニットに電源コードを接続します。ケーブルホルダー等がある場合は適切に使用しケーブルを固定してください。（接続図②参照）



指定された電源コード以外のコードを使わないでください。



3. ディスプレイ、キーボード、マウス、もしくはコンソールユニットに接続された KVM ケーブルを SSU コンソールケーブルに接続します（接続図③参照）



- キーボード、マウスは、各々USB ポートに一つずつ接続してください。
- USB キーボード、USB マウス以外の USB デバイスは動作できません。
- 無線式の USB キーボード、USB マウスはサポートされていません。
- KVM ケーブルの USB コネクタは必ず SSU コンソールケーブルの USB キーボードコネクタ(メス、紫)に接続してください。USB マウスコネクタ(メス、緑)はサポートしていません。

4. SSU コンソールケーブルを本製品のコンソールポートに接続します。（接続図④参照）
5. 1 台目のサーバに KVM ケーブルを接続します。（接続図⑤参照）
6. サーバポートに KVM ケーブルを接続します。（接続図⑥参照）



インタフェースケーブルの接続は、必ず、サーバ側、本製品側の順序で接続してください。

7. 2 台目以降のサーバも同じ要領で接続します。（接続図⑤⑥参照）
8. サーバの電源プラグをコンセントに接続します。ただしサーバの電源は OFF のままにします。（接続図⑦参照）
9. ディスプレイ、もしくはコンソールユニットの電源コードをコンセントに接続します。（接続図⑧参照）
10. AC アダプタのケーブルを本製品の DC インレットに接続します。この時、添付のケーブルタイで固定します。（ケーブルの抜け防止について および接続図⑨参照）



- 必ず付属の AC アダプタをお使い下さい。
- ケーブルが強い力で引っ張られることのないよう注意してください。

11. 全てのケーブルが正しく接続されたことを確認した後、AC アダプタをコンセントに接続します。（接続図⑩参照）
12. 続いてディスプレイ（もしくはコンソールユニット）→サーバの順で電源を ON にします。
13. サーバが起動したら、キーボード、マウス、ディスプレイ（もしくはコンソールユニット）、SSU の設定・確認を行ってください。設定を変更した場合はサーバを再起動してください。

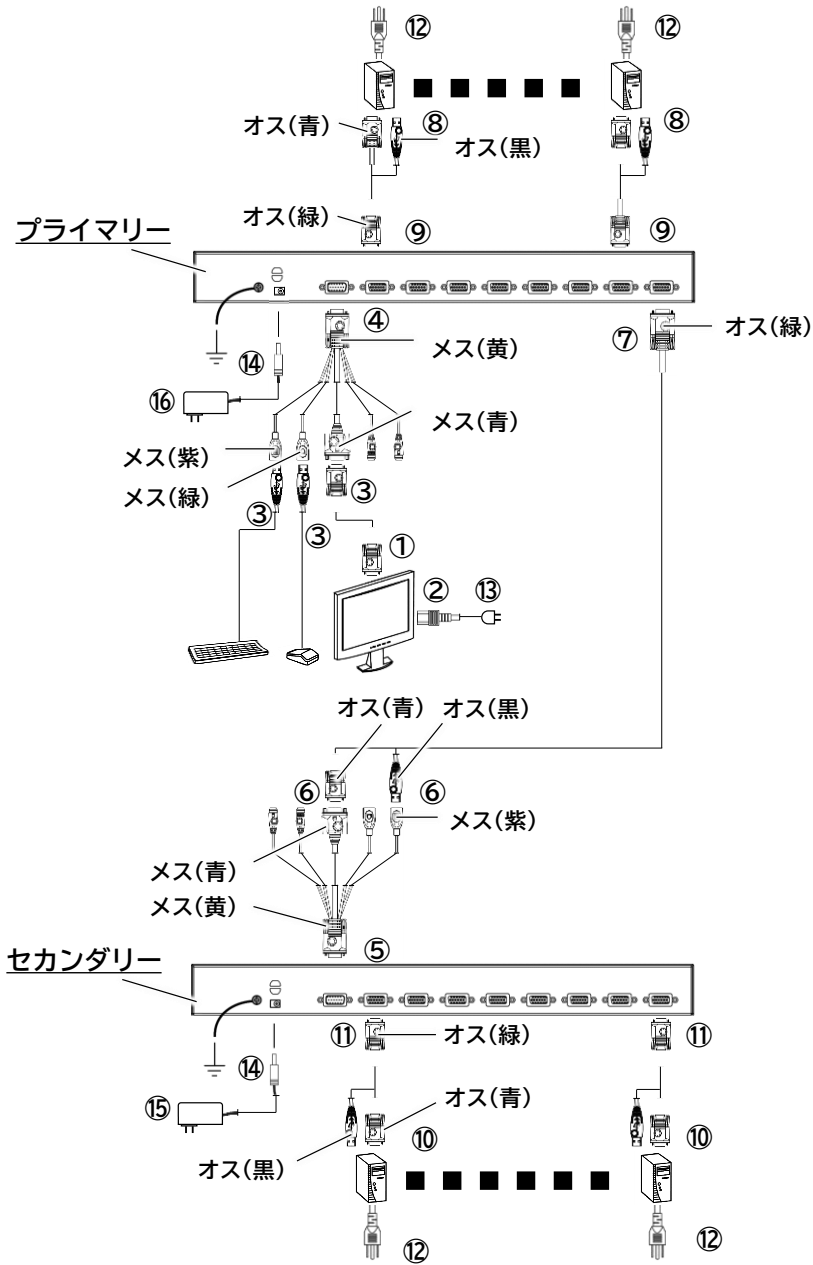


コンソールユニットの設定方法はコンソールユニットのユーザーズガイドを参照してください。SSU の設定方法は SSU のユーザーズガイドを参照してください。

カスケード接続（SSU を 2 台以上接続する場合）

※単体接続同様コンソールユニットの接続も可能です。

※コンソール機器が接続される SSU をプライマリー、プライマリーに接続される SSU をセカンダリーと表記します。



1. ディスプレイ、キーボード、マウス、ディスプレイの電源ケーブルを「単体接続」の 1～4 項を参照して接続します。この時 SSU コンソールケーブルはプライマリーに接続します。（接続図①～④参照）
2. セカンダリーに SSU コンソールケーブルを接続します。（接続図⑤参照）
3. KVM ケーブルを SSU コンソールケーブルに接続します。（接続図⑥参照）



KVM ケーブルの USB コネクタは必ず SSU コンソールケーブルの USB キーボードコネクタ(メス、紫)に接続してください。USB マウスコネクタ(メス、緑)はサポートしていません。

4. プライマリーのサーバポートに KVM ケーブルを接続します。（接続図⑦参照）



カスケード接続の段数は 2 段までです。セカンダリーのサーバポートに SSU を接続しないで下さい。



セカンダリーを増設する場合は、上記 2～4 項の要領で接続してください。（N8191-16 の場合は 8 台まで、N8191-17 の場合は 4 台まで）

5. プライマリーのサーバポートに「単体接続」の 5～6 項を参照してサーバを接続します。（接続図⑧、⑨参照）

6. セカンダリーのサーバポートに「単体接続」の 5～6 項を参照してサーバを接続します。（N8191-16 の場合は 8 台まで、N8191-17 の場合は 4 台まで）（接続図⑩、⑪参照）
7. サーバの電源プラグをコンセントに接続します。ただしサーバの電源は OFF のままにします。（接続図⑫参照）
8. ディスプレイの電源コードをコンセントに接続します。（接続図⑬）
9. AC アダプタのケーブルを本製品の DC インレットに接続します。この時、添付のケーブルタイで固定します。（ケーブルの抜け防止について および接続図⑭参照）



- 必ず付属の AC アダプタをお使い下さい。
- ケーブルが強い力で引っ張られることがないように注意してください。

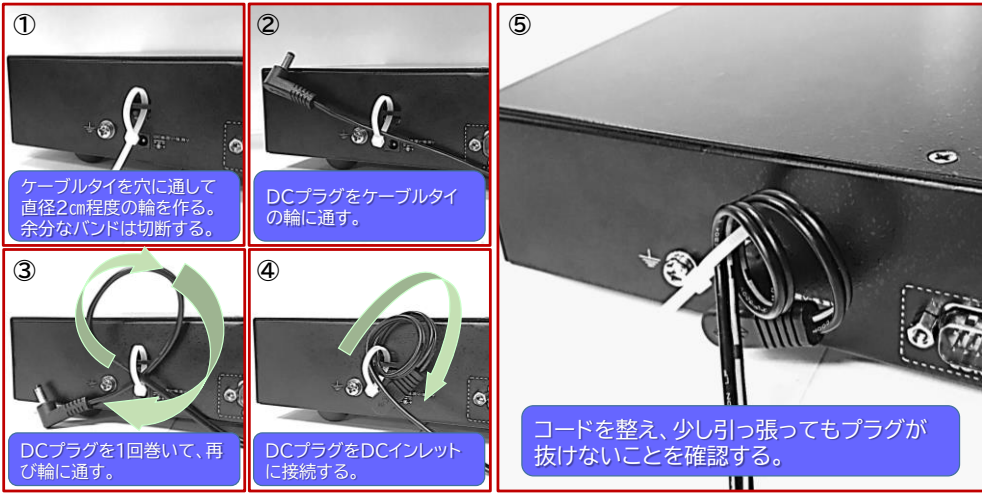
10. 全てのケーブルが正しく接続されたことを確認した後、セカンダリーに接続されている AC アダプタをコンセントに接続し、全てのセカンダリーに電源が入ったことを確認してください。（接続図⑮参照）
11. プライマリーに接続されている AC アダプタをコンセントに接続し、電源が入ったことを確認してください。（接続図⑯参照）
12. 続いてディスプレイ→サーバの順で電源を ON にします。
13. サーバが起動したら、キーボード、マウス、ディスプレイ、SSU の設定・確認を行ってください。設定を変更した場合はサーバを再起動してください。



SSU の設定方法は SSU のユーザーズガイドを参照してください。

ケーブルの抜け防止について

ケーブル抜け防止用のケーブルタイの取り付け方は以下の通りです。



商標について

記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。
本文中には™、®マークは明記していません。

N8191-16 サーバスイッチユニット(8Server)
N8191-17 サーバスイッチユニット(4Server)

スタートアップガイド（第 1 版）

2022 年 3 月 初版発行

日本電気株式会社

東京都 港区 芝 5 丁目 7 番地 1 号
TEL (03)3454-1111(大代表)

本書は再生紙を使用しています

